



令和5年度 夏季 ICT 技術研修会



本校では、「児童一人一人の主体的な学びと自立を目指した授業づくり～卒業後の生活を見据えた、学びの連続性とライフステージを意識して～（1年計画）」というテーマで校内研究を行っています。昨年度まで研究テーマで取り組んできたICT活用にかかわる継続的な研修の機会を設け、児童生徒の指導に生かせる ICT 機器活用についての基本的な技術や活用する力の向上を目的として、研修会を行いました。今回は、筑波大学附属大塚特別支援学校の高津梓氏を講師としてお招きして、「特別支援学校の児童生徒が主体的に取り組める ICT 活用の実際」という題目で講義をしていただきました。後半は、講師から紹介のあった ICT 機器の実技を行いました。

講義「特別支援学校の児童生徒が主体的に取り組める ICT 活用の実際～」

講師 筑波大学附属大塚特別支援学校 教諭 **高津 梓氏**

講義は、本校体育館で行われ、本校、白桜高等学園、共栄分校の教職員計116名が参加しました。講義では、講師の高津先生より筑波大学附属大塚特別支援学校の児童生徒に対する様々な ICT 機器を活用した支援事例について、動画や写真を交えながら具体的にお話していただきました。また、すぐに使えそうなアプリやコンテンツの紹介もしていただき、大変参考になりました。

アンケートでは、「北海道外の特別支援学校の事例を知ることができて、とても勉強になった」「2学期からの指導に生かしたい」等の感想が寄せられました。



実技講座

実技講座では、

- ① 音声ペン (G-Speak: Gridmark Inc.)
- ② G-Pen Blue (Gridmark Inc.)
- ③ Power Point 教材 (かるたであそぼう、りんごをつくろう)

以上、3点について紹介していただき、実際に音声ペン等を操作したり互いに教え合ったりしながら、ICT 活用能力の向上に努めました。

実技講座を通して、「音声ペンなど、今までに知らなかったものを知ることができて良かった」「今後の指導に向けて『しゃべり描きアプリ』や『UD フォント』なども含めて試していきたい」等の感想が寄せられました。今回の研修で学んだことを、今後の実践に生かしていければと思います。

